

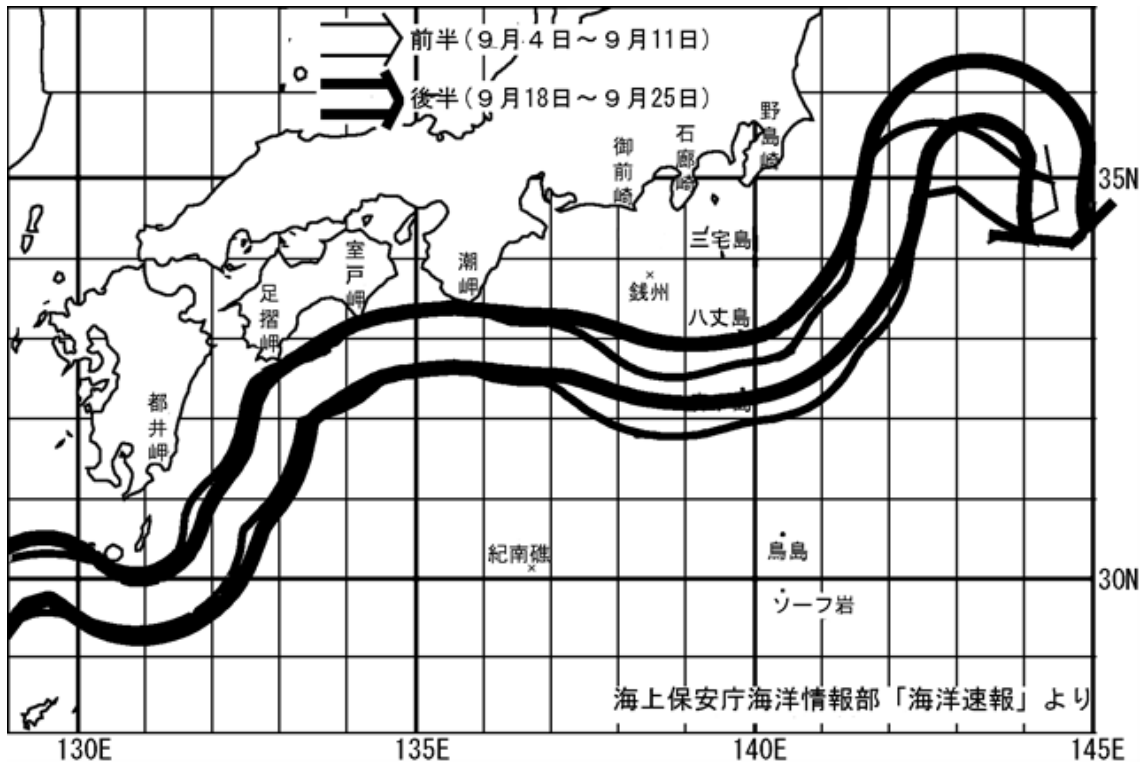
漁海況月報

平成19年9月1日

No. 9 ~ 9月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	24.6	24.7	24.9	25.2	24.7	25.7	25.8
	-0.1	0.3	0.3	-0.7	-1.0	0.3	0.4
中旬	24.2	23.1	23.0	24.1	24.6	25.1	25.4
	0.0	-0.9	-1.2	-1.0	-0.3	0.7	0.6
下旬	24.1	24.2	24.3	24.2	24.2	24.7	24.9
	0.1	0.2	0.2	-1.0	-0.6	0.3	0.3
月	24.3	24.0	24.0	24.5	24.5	25.2	25.4
	0.3	0.0	0.0	-0.6	-0.2	0.8	0.8

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸でやや離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から東南東に流れた。その後、石廊崎沖 32° N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 141° ~142° E 付近を北上した。

月後半の黒潮は、九州東岸でやや離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から概ね東に流れた。その後、石廊崎沖 32° 30' N 付近まで離岸した後、八丈島のすぐ南を通り 141° ~142° E 付近を北上した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 22~25°C 台、駿河湾東部では 22~26°C、西部では 23~26°C 台で経過した。

月を通じて熊野灘から遠州灘にかけて概ね 25~27°C 台の暖水がみられ、中旬には駿河湾西部にも波及した。一方、伊豆半島南東岸から伊豆諸島にかけては概ね 22~23°C 台の冷水域がみられた。このため、中旬の駿河湾西部においてやや高めの水温となったほかは、各地ともやや低めから平年並みの水温で経過した。

【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は20トで前年同期の38%であった。魚価は330円/kgで、前年同期の131%であった。

静岡県船は37~40° N、145~148° Eでチン、小、極小、中、大カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年9月上旬	6	2	3.2	380
	10	2	4.9	324
	4	1	4.3	237
19年9月計	20	5	4.0	330
18年9月計	52	15	3.5	251
17年9月計	63	18	3.5	222

【定置網】

平成19年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は279トで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量39.9トは前年31.5ト(6漁場)の127%、平年値(昭和57~平成18年)47.7トの84%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類64.5ト(A:前年同月比114%、B:平年同月比47%)②ヤマトカマス61.0ト(A:495%、B:272%)③マアジ32.1ト(A:406%、B:110%)④マルソウダ28.5ト(A:58%、B:49%)⑤イサキ25.0ト(A:200%、B:293%)の順であった。

サバ類はゴマサバ中心で、富戸、川奈、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは21cm、26cm、31cmにみられた。ヤマトカマスは昭和57年以降で3番目に多く水揚げされ、北川、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmであった。マアジは赤沢、谷津を中心に入網し、尾叉長のモードは15cmと17cmにみられ、0歳魚、1歳魚中心に水揚げされていた。マルソウダは古網、富戸、川奈を中心に

入網し、尾叉長のモードは27cmにみられた。イサキは古網を中心に入網し、伊東市場で測定された尾叉長は14～18cmのものが中心であった。また、ワカシが12.8トンと昭和57年以降で最も多く水揚げされ、尾叉長のモードは32～33cmであった。

漁場別水揚量は、古網94トン(ヤマトカマス、マルソウダ、サバ類中心)、富戸43トン(サバ類、マルソウダ、ヤマトカマス中心)、北川38トン(ヤマトカマス、サバ類、マアジ中心)の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港では棒受網によって前年同期(252トン)を大きく上回るゴマサバ576トンが水揚げされた。漁場は三本周辺海域に形成された。水揚げされたゴマサバは、尾叉長29～34cmのものが主体であったが、中旬以降、22～26cmのもの割合が増加した。ゴマサバの1kg当たりの平均単価は58円で、極端な安値となった前年(前年同期:38円/kg)を上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成19年 上旬	184	4	6	30.7	三本
9月 中旬	177	3	6	29.5	三本
下旬	214	3	6	35.7	三本
計	576	10	18	32.0	-----
平成18年9月	252	7	14	19.0	三宅、新島瀬戸、大室出し
平成17年9月	832	9	28	29.7	銭洲、中ノ瀬、三宅

水揚量は各旬で四捨五入しているため、計と一致しない

【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では450kg、遠州灘では255kgで、主要6港平均では325kgと前年同期(344kg)及び前年同期(過去5年平均:345kg)の94%と、ほぼ前年及び前年並みであった。総水揚量は718.9トンで前年同期(882.7トン)の81%、前年同期(849.0トン)の85%であった。平均単価は744円/kgと前年同期(851円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統・日)	平均単価(円/kg)
新 居	35.2	16	208	169	755
舞 阪	144.4	15	589	245	729
福 田	134.4	15	400	336	669
御前崎	48.1	15	225	214	649
吉 田	159.2	17	442	360	652
静 岡	197.7	16	351	563	903
平成19年9月計	718.9	94	2,215	325	744
平成18年9月計	882.7	111	2,566	344	776
平成17年9月計	1,306.3	88	2,223	588	528

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げはほとんどなかった(前年同期97.6トン)。沼津港ではマイワシが5.6トンと前年同期(92.7トン)を大きく下回り、カタクチイワシの水揚げはなかった(前年同期3.7トン)。静浦港ではマイワシの水揚げは0.3トン(前年同期4.8トン)で、カタクチイワシの水揚げはなかった(前年同期(48.7トン))。

注) 前年同期:過去5か年(2002～2006年)平均

【調査船の動向】

富 士 丸	8月22日	～	9月17日	三陸沖方面カツオ・ビンナガ調査	(19日間)
駿 河 丸	9月3日	～	9月4日	地先観測(駿河湾)	(2日間)
	9月10日	～	9月11日	地先観測(駿河湾、遠州灘)	(2日間)
	9月12日	～	9月14日	トラフグ調査(駿河湾)	(3日間)
	9月18日	～	9月19日	サバ標識放流、サクラエビ産卵調査(駿河湾)	(2日間)
	9月20日	～	9月20日	CTD調整試験(駿河湾)	(1日間)
	9月21日	～	9月21日	ドッグ回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAによる海面の水温分布画像を見ることができます。

